

給排水設備施工標準図

散水栓ボックス	仕切弁ボックス	雨水樹	屋外ガス給湯器 (壁掛け型)
<p>【仕様】</p> <ol style="list-style-type: none"> 散水栓ボックスは、ステンレス製の文字入りとし、自動車等の荷重を避けて設置して下さい。 ボックス内の玉砂利は排水目皿（DB40）の目を通過しない大きさのものを使用して下さい。 花壇等の中に設置する場合でも、周囲をコンクリートで巻いて下さい。 	<p>【仕様】</p> <ol style="list-style-type: none"> 仕切弁にはプラスチック製の「名札」を付け、行先を明記して下さい。 仕切弁ボックスの蓋は、「B-1」としますが、荷重がかからない場所でバルブまでの深さが浅い場合は塩ビ製のものを使用して下さい。 	<p>【仕様】</p> <ol style="list-style-type: none"> 前面駐車場等の荷重がかかる部分は、コンクリート製（鋳物格子蓋）としますが、人が歩く程度の荷重の箇所については、樹脂製のものを使用して下さい。 雨水樹周辺の砂利敷きに使用する砂利は、雨水樹格子蓋の樹目を通過しない大きさの玉砂利とします。 	<p>【仕様】</p> <ol style="list-style-type: none"> ガス給湯器は16号以上として下さい。 配管カバーは900mmとして下さい。また、配管は配管カバー内で屋内に引き込むものとして下さい。 基礎はH=200mm(地上、地中各100mm)としコンクリートの下には切込み砕石を敷いて下さい。 ガス給湯器排気口部と窓等の開口部との離隔距離は600mm以上離すこと。